



平成21年8月28日
内閣府（防災担当）

平成21年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問い合わせ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 井上、宮崎、設楽

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

平成21年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

東京経済大学コミュニケーション学部教授

吉井 博明

(東京都)

関西大学環境都市工学部教授・理事

河田 恵昭

(大阪府)

公立大学法人大分県立看護科学大学学長

草間 朋子

(大分県)

医師

島崎 修次

(東京都)

○ 団体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成20年岩手・宮城内陸地震における消防団の災害出動)

奥州市衣川区消防団

(岩手県)

一関市消防団

(岩手県)

栗原市消防団

(宮城県)

(平成20年8月末豪雨における消防団の災害出動)

常総市石下消防団

(茨城県)

八王子市消防団

(東京都)

(平成20年岩手・宮城内陸地震における災害警備活動)

岩手県警察災害警備本部

(岩手県)

宮城県警察災害警備本部

(宮城県)

(平成20年岩手・宮城内陸地震における災害派遣活動)

陸上自衛隊東北方面隊災害派遣部隊・同配属部隊・同支援部隊

(宮城県)

航空自衛隊航空支援集団

(東京都)

〔防災体制の整備〕

泉町三丁目地区連合自治防災会

(東京都)

株式会社静岡第一テレビ

(静岡県)

たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」

(滋賀県)

水俣市第3区自治会防災防犯委員会

(熊本県)

以上 4個人 13団体

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名 (年 齢)	よ しい ひろあき 吉 井 博 明 (65歳)
住 所	東京都大田区
職 業	東京経済大学コミュニケーション学部教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、情報社会論の第一人者として、災害情報などを切り口とした情報化に関する研究において優れた業績を挙げており、情報社会論や災害情報論に基づく減災のための災害情報の有効活用など、学術的にも極めて高い成果を残している。</p> <p>また、情報通信学会や日本自然災害学会などにも所属し、特に地域安全学会では顧問を務めるなど学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、中央防災会議「東海地震対策専門調査会」専門委員（副座長）、「東南海、南海地震等に関する専門調査会」専門委員、「首都直下地震避難対策等専門調査会」専門委員、及び富士山ハザードマップ検討委員会委員等を歴任し、情報社会論や災害情報論を基にした数多くの有用な提言を行い、防災体制の構築に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名 (年 齢)	かわた よしあき 河 田 惠 昭 (6 3 歳)
住 所	大阪府守口市
職 業	関西大学環境都市工学部教授・理事
功 績 の 概 要	<p>同氏は、長年にわたり、河川・海岸災害、巨大災害、都市災害、総合減災システムなどを専門とし、防災・減災対策等について幅広い側面から分析を行い、学術的にも極めてレベルの高い成果を残すとともに、災害文化の普及啓発、地域防災力の向上及び防災政策の開発支援等を図り、減災社会の実現に向けて尽力している。</p> <p>また、日本自然災害学会や日本災害情報学会などにも所属し、会長や理事などの要職を務めるなど学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>また、平成16年12月のインドネシア・スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波災害や、平成17年8月のハリケーン・カトリーナによる被害に際しても自ら率先して調査等を行うなど、国外の大規模災害に対する支援活動にも積極的に取り組み、防災対策の推進に大きく貢献している。</p> <p>さらに、中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」専門委員（座長代理）、「首都直下地震対策専門調査会」専門委員、「大規模水害対策に関する専門調査会」専門委員（副座長）等を歴任し、防災研究等を基にした数多くの有用な提言を行い、防災体制の構築に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名 (年 齢)	く さ ま と も こ 草 間 朋 子 (6 7 歳)
住 所	大分県大分市
職 業	公立大学法人大分県立看護科学大学学長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、放射線防護の権威として、平成11年11月から平成12年10月まで、JCO事故を受けて原子力安全委員会に設置された健康管理検討委員会の構成員として、臨界事故における線量評価の結果をふまえた健康管理のあり方に関する検討に参加し、放射線被ばくの際の健康管理の指針となる「健康管理検討委員会報告」の策定に貢献している。</p> <p>また、平成13年6月から現在まで原子力施設等防災専門部会の専門委員として、「原子力施設等の防災対策について」(防災指針)の改訂に際し、国際指針に精通した放射線防護の専門家の立場から、その調査審議に貢献している。</p> <p>さらに、平成16年8月から平成20年1月まで同部会部会長代理として、「原子力緊急事態等の解除を行う旨の公示等に係る技術的助言の基本的考え方について」の策定に取り組むとともに、平成16年11月から現在まで、放射線防護専門部会の部会長として、「環境放射線モニタリング指針」の策定にあたって、専門的知見に基づく有用な提言を行い、原子力防災体制の構築に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名 (年 齢)	しまざき しゅうじ 島 崎 修 次 (68歳)
住 所	東京都武蔵野市
職 業	医師
功 績 の 概 要	<p>同氏は、救急医療の専門家として、救急救命士の業務のあり方に関する検討会の座長等を歴任され、救急救命士の業務の高度化に尽力するとともに、救急救命士国家試験の試験委員長等を努め、救急救命士の質の確保に取り組み、現在の我が国における病院前救護体制を確立させた。</p> <p>また、救急業務の高度化に関する検討会や消防審議会の委員として指導的な立場で検討を推進し、災害対策における消防と医療の連携体制の構築や、災害現場等からの円滑な救急搬送・受入れに関する制度の創設など、我が国の防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	奥州市衣川区消防団
所 在 地	岩手県奥州市
代 表 者	すがわら あきら 団 長 菅 原 明
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震に際し、18日間にわたり、延べ257名が出動し、人的被害、住宅の全半壊、国・県・市道の崩落や決壊、橋の落下、山の崩壊等を含む甚大な被害を蒙った中、被災地の警戒活動、被災者の安否確認や避難所への誘導活動等を迅速に行った。</p> <p>また、住民の安全安心確保のため、長期間にわたり被災地を巡回し、二次災害の警戒にあたるなどの防災活動に取り組むなど被害軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	一関市消防団
所 在 地	岩手県一関市
代 表 者	お お も り た だ お 団 長 大 森 忠 雄
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震に際し、32日間にわたり、延べ1,838名が出動し、被災地の警戒活動、被災者の安否確認や避難所への誘導活動等を迅速に行うとともに、地震により発生した土砂崩れや国道の崩壊、落橋等による交通網の寸断により孤立状態となった住民救出の際、早期に周辺の被害状況の確認を行い、迂回路の確保や交通整理を行い、孤立者の早期救出に貢献した。</p> <p>また、磐井川の河道閉塞に伴う24時間態勢の土石流警戒や広報活動を長期にわたり実施するなど、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	栗原市消防団
所 在 地	宮城県栗原市
代 表 者	さかもと ながお 団 長 坂 本 長 男
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震に際し、発生から現在に至るまで、延べ2,114名が出動し、土砂崩れによる道路寸断、通信の途絶など極めて困難な状況の下、地域の被害状況の巡回調査活動や避難住民の誘導を行った。</p> <p>また、大規模な断水が発生していた山間部の給水活動を行うとともに、道路や宅地の亀裂への雨水流入による二次災害を防止するため、ブルーシート張りを行うなど被害軽減に多大な貢献をした。</p> <p>さらに、行方不明者の捜索活動にあつては、自衛隊、緊急消防援助隊の活動終了後、引き続き捜索活動を行うなど、震災における防災活動全般に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	常総市石下消防団
所 在 地	茨城県常総市
代 表 者	ぬまじり たかし 団 長 沼 尻 隆 志
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成20年8月28日から31日までの4日間にわたり各地を襲った豪雨災害に際し、延べ768名を出動させた。団員は、昼夜にわたり床上・床下浸水危険箇所への積み土のう及び堤防漏水箇所への月の輪工法等の水防活動を行い、破堤を防いだ。</p> <p>また、住民の避難誘導、水没車両要救助者の救出などの人命救助活動を行い、1人として人的被害を出さず、さらに内水排除や流木等の処理を行い二次災害を防止するなど、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	八王子市消防団
所 在 地	東京都八王子市
代 表 者	う ら べ ひ ろ し 団 長 浦 邊 博
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成20年8月28日から30日に八王子市を中心とした多摩南部地域を襲った集中豪雨に際し、3日間延べ1,899名を出動させた。団員は、昼夜にわたり積み土のう等の水防活動を行うとともに、水路の増水を防ぐための水門操作及び、内水排除、流木等の処理を行い、周辺世帯への浸水被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また、3箇所計162世帯の住民に対し迅速な避難誘導を行い、1人として人的被害を出さず避難を完了させた。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	岩手県警察災害警備本部
所 在 地	岩手県盛岡市
代 表 者	ほすみ まさやす 本部長 保 住 正 保
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震に際し、警備体制の早期確立を図るとともに、青森・山形・福島・千葉各県警察及び警視庁の警察広域緊急援助隊等延べ約180名の派遣を得て、被害の大きかった奥州市・一関市内を中心に被害情報の収集、被災者の救助救出、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、被災者サポート隊や被災地警戒隊を臨時に編成し、避難所等における各種相談活動や防犯広報活動等の被災者支援対策を実施するなど、7月6日までの23日間に、延べ約2,840名の警察官等を動員して県民生活の安全確保と県民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	宮城県警察災害警備本部
所 在 地	宮城県仙台市
代 表 者	お お や ま け ん じ 本 部 長 大 山 憲 司
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震に際し、警備体制の早期確立を図るとともに、北海道警察・関東管区警察局・中部管区警察局・警視庁の警察広域緊急援助隊等延べ約1,290名の派遣を得て、被害の大きかった栗原市内を中心に被害情報の収集、被災者の救助救出、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、被災者対策隊や地域警戒警ら隊を臨時に編成し、避難所等における各種相談活動や防犯広報活動等の被災者支援対策を実施するなど、7月31日までの48日間に、延べ約9,630名の警察官等を動員して県民生活の安全確保と県民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	陸上自衛隊東北方面隊災害派遣部隊・同配属部隊 ・同支援部隊
所 在 地	宮城県仙台市
代 表 者	きみづか えいじ 方 面 総 監 君 塚 栄 治
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震において、岩手・宮城両県知事からの災害派遣要請受領後速やかに各部隊を被災地に派遣し、289名の人命救助・孤立者の救出を実施した。</p> <p>また、被災した避難住民の生活を確保するため、6月14日から8月3日までの間、給食19,557食及び給水640.1tの支援を実施するとともに、避難所等において入浴施設を開設し、被災住民延べ6,951名の入浴支援を実施した。</p> <p>さらに、被災民の健康を考慮し、136名の医療支援を実施するなど、被害の局限化に努め、被災地の民心の安定に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	航空自衛隊航空支援集団
所 在 地	東京都府中市
代 表 者	もりした はじめ 司令官 森 下 一
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震において、6月14日から7月10日までの間、被災地近傍の松島基地を活動拠点として、延べ出動人員1,459名、延べ出動機数97機が余震及び泥濘地や崖崩れの恐れがある等の諸制約を克服しつつ、被害状況に関する情報収集を実施するとともに、69名の被災住民を含む計1,691名の人員、7.22トンの救援物資等の空中輸送を行う等、被災地の民心の安定に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	泉町三丁目地区連合自治防災会
所 在 地	東京都国分寺市
代 表 者	のぐち せいいち 会 長 野 口 誠 一
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、昭和58年に設立され、昭和59年に国分寺市と「防災まちづくり推進協定」を締結し、広範囲な地域防災活動を積極的に推進している。</p> <p>地域の特性を踏まえた地区防災計画や、災害時行動マニュアル、災害時要救出者名簿を作成し、災害時支援ボランティア等による救出救護の計画と地域の実情に応じた安否確認等の実働計画を整備するとともに、機関紙「泉町三丁目防災ニュース」を毎月1回以上発行・全世帯に配布し、自助・共助などの防災意識の啓発を図っている他、地震発生時の身体保護から初期消火、救出救護活動等をチーム対抗の審査会形式で行うなど工夫を凝らした実戦的訓練「泉町三丁目防災コンクール」など独自のユニークな取り組みをを25年余にわたり継続して実施するなど、防災意識の啓発や地域防災力の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	株式会社静岡第一テレビ
所 在 地	静岡県静岡市
代 表 者	ふくおか つねゆき 代表取締役社長 福 岡 常 行
功 績 の 概 要	<p>同社は、東海地震に対する県民の防災意識向上を目的に、平成13年4月より「ダイちゃん・あいちゃん地震防災キャンペーン」をスタート。小学校低学年から地震防災に対する理解を深めてもらうとともに、家庭での地震対策を普及啓発するため、地震防災ハンドブック「地震ってなあに？」を製作し、静岡県内の国公立の小学校1年生全員に無償配布しており、8年間の配布実績は約28万6千人。また、特別支援学校に対しても防災教育の教材として配布しているほか、防災展示会などのイベントにも積極的に協力している。</p> <p>また、5分間の地震防災専門番組「地震防災チェック～わが家と家族を守るために～」の放送を行い、地震防災に係るさまざまな情報提供をし、自己責任型防災に対する県民意識の喚起に貢献しており、県民の防災意識の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」
所 在 地	滋賀県高島市
代 表 者	お お た な お こ 代 表 太 田 直 子
功 績 の 概 要	<p>同団体は、阪神淡路大震災をきっかけに、災害の記憶を薄れさせることなく防災・減災意識を高めるために、「備えと構え」をテーマに地域学習会を開催するとともに、県内にとどまらず、近隣府県（大阪・京都・岐阜・福井・愛知）においても年間約50回に及ぶ出前講座を開催しており、防災・減災意識の高揚及び、自助・共助が機能する地域コミュニティ作りに寄与している。</p> <p>また、地震発生時に公共交通機関が不通になった場合に備え、徒歩で帰る訓練として災害時徒歩帰宅訓練「サバイバルウォーク」を毎年実施するなど、防災意識の啓発や地域防災力の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	水俣市第3区自治会防災防犯委員会
所 在 地	熊本県水俣市
代 表 者	やまもと たけし 委員長 山 本 武
功 績 の 概 要	<p>同自主防災組織は、平成7年に発足し、自主的に行った高齢者世帯の防災点検を始めとする自主防災活動を進めてきている。特に平成15年7月に水俣市を襲った豪雨災害の際に、海岸線にあるという地域の特性に配慮した住民の避難誘導、情報伝達、地域住民の安否把握も兼ねた避難所運営、飲食物の配布などを行い、災害時の自主防災組織の有効性を示した。</p> <p>また、地域の安全マップの作成、防災備品の整備、救命講習の実施のほか、行政に先駆けた、災害時要援護者名簿の作成等に取り組むなど、その活動は多岐にわたっており、地域の防災意識の向上に多大な貢献をした。</p>